

2024年度

科目名称	教育原理（小・中・高）【中・高】
授業コード	BN109
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	神谷 純子
記入不要 ナンバリングコード	BJ103
授業の概要	体験をとおして獲得してきた「教育」、「学校」、「学習」、「指導」、「児童生徒・こども」に関する知識や考え方を大切にしながら、「教育」という営みとその原理について歴史的、思想的、実践的および社会的な視点から総合的に学習する。さらに、授業で得た知識を活用し、現在の教育について関心を持ち意見を述べる機会を提供する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	学校教員としての実務経験を踏まえて講義内容及び方法に工夫を凝らし、教育現場に根差した知識技術の修得を図る。
到達目標	教育学を学び、教員免許状を取得するための諸科目を履修する基礎知識を獲得する。具体的には、教育の基本的概念、教育の理念について理解し、教育の歴史や教育の思想としてどのように現れてきたかについて基礎的な知識を獲得するとともに、これまでの教育や学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのについて理解することができる。 学科のカリキュラム・ポリシーとの関係では、子どもの発達や教育の基礎を学ぶための科目（教育学基礎科目）に相当する。また、学科ディプロマ・ポリシーとの関係では、教職に求められる専門的知識を習得し、学識と技能を身につけ、様々な課題について、各領域で習得した幅広い知識をもとに、解決策を提案することができる。【基礎力・思考力】科目に相当する。
計画・内容	第1回：オリエンテーション 第2回：教育の意義と目的 第3回：教育の基礎的概念と諸理論 「社会化」に関わる諸問題 第4回：教育の基礎的概念と諸理論 諸外国の教育理論 ソクラテス他 第5回：教育の基礎的概念と諸理論 諸外国の教育理論 カント他 第6回：教育の基礎的概念と諸理論 諸外国の教育理論 ジョン・デューイ他 第7回：諸外国の教育史 西洋教育史（古代～近世） 第8回：諸外国の教育史 西洋教育史（近世～近代） 第9回：諸外国の教育史 西洋教育史（近代～現代） 第10回：日本の教育史 古代～江戸時代 第11回：日本の教育史 江戸時代～明治維新「学制」 第12回：日本の教育史 明治維新「学制」～第二次世界大戦 第13回：教育制度の基礎 制度化された教育 第14回：教育制度の基礎 日本の学校教育制度 第15回：学校・教育改革の動き・まとめ
授業の進め方	スライドを使用し講義を行う。スライドは適宜プリント資料として配付する。
能動的な学びの実施	毎回小課題の記述を課し、適宜フィードバックを行う。

2024年度

授業時間外の学修	予習：参考図書等に目を通す（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）
教科書・参考書	参考書： 島田和幸ほか編著『教育原理（よくわかる！教職エクササイズ）』（ミネルヴァ書房、2018年） この他、適宜授業で紹介する。
成績評価方法と基準	授業内で課す小課題（60％）、最終課題（試験）（40％）の結果を総合的に判断する。
課題等に対するフィードバック	リアクションペーパーや小課題については、随時フィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus Square を参照
留意事項	本科目は卒業のための【必修科目】、教員免許状取得のための【必修科目】にあたる。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	非対面・オンライン（オンデマンド課題）学修 15回に切り替える。 Campus Squareの掲示板またはレポート提出欄に課題・動画URLを提示し、レポート提出欄から課題を提出する形式をとる。 平時（対面授業時）に準ずる。